

豊の国

雇用開発おおいた

No. 41

2019年2月



公益財団法人
大分県総合雇用推進協会

目 次

就任のごあいさつ	1
会 長 杉原 正晴	
平成30年度の協会実施イベントのご案内	2
1 豊の国雇用促進フェスタ	
2 UIJターン希望者・新規大卒者等合同企業面接会	
3 企業人事担当者向けセミナー・障害者就職面接会	
4 企業説明会のポイントセミナー	
5 内定者フォローセミナー	
6 アビリンピックおおいた2018	
2019.3卒対象 就活イベント参加学生の就職活動状況	9
関係機関・団体からのお知らせ	10
○大分労働局	
○大分県商工労働部 雇用労働政策課	
○独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 大分支部	
○公益財団法人 産業雇用安定センター 大分事務所	

表紙の写真



※表紙写真は
大分県の鳥「メジロ」と大分県の花・木「豊後梅」

大分県の鳥「メジロ」と 大分県の花・木「豊後梅」

緑がかった背を持ち目の周りが白いのが特徴で名前の由来にもなっているメジロは、梅が咲く時期になると飛来し春を告げる鳥としても有名で、大分県民からも多く愛されています。

豊後の名産として知られている豊後梅は、2月上旬から3月中旬にかけて大分県内各地で見頃を迎え、清楚で優美に咲く気品溢れる花として親しまれています。

就任のごあいさつ

公益財団法人 大分県総合雇用推進協会

会長 杉原正晴



協会会員の皆様並びに関係機関の皆様には、ますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。

さて、私は平成30年11月26日に開催されました第2回理事会において当協会の会長に選任されました杉原でございます。

会長に就任するにあたり一言ご挨拶を申し上げます。

当協会は「社会経済の変化に即応して、高齢者、障害者及び若年者等の安定した雇用の確保などの事業を行うことにより、県内産業及び企業における雇用の確保と安定に資し、もって県民の福祉の向上に寄与する」ことを目的として、大分労働局、大分県など県内の関係機関のご協力をいただきながら雇用関係の各種事業を進めてきたところです。

本年度においても「おおいた産業人財センター事業」や「おおいた地域若者サポートステーション事業」などの国・県からの委託事業、若者の地域定住促進を目指した協会の自主事業を中心として事業を展開しているところですが、私としましてもこのような事業を積極的に推進し県内雇用の安定、県民福祉の向上に努めてまいりたいと考えておりますので、皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「豊の国雇用促進フェスタ」を開催



平成30年度「豊の国雇用促進フェスタ」が、平成30年10月26日(金)に大分市のトキハ会館において大分労働局、大分県、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構大分支部及び当協会の主催、大分合同新聞社、全国地方新聞社連合会の後援により開催されました。



安東 隆 大分県副知事

このフェスタは、年齢や障害に関わりなく働ける社会の実現を目指す取り組みの一環として毎年開催しており、県内の高齢者・障害者の雇用優良事業所等に対する表彰や記念講演を行っております。今年度は被表彰者や関係機関・団体等から111名の参加をいただき、盛大に開催されました。



幸重 綱二 協会長

広瀬大分県知事(代理は安東隆副知事)及び幸重綱二協会長からの挨拶のあと、表彰式が行われ、県知事感謝状、協会長表彰、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長表彰が雇用優良事業所及び優良勤労者に贈呈されました。

記念講演では、独立行政法人労働政策研究・研修機構の総括研究員の中山明広氏をお招きし、「生涯現役社会の実現をめざして」と題してご講演をいただきました。

記念講演 「生涯現役社会の実現をめざして」

高齢化と少子化の進展に伴い、社会的コスト(年金、医療、介護等)全体の増大と一人当たりの負担増が不可避である。

経済社会の活力を維持するためにコスト圧力を緩和する方法としては、コスト増に見合った収入を確保するか、コスト自体を圧縮するかということになる。

方策として、①経済成長を通じ、税、保険料収入を増大させる、②年金、医療、介護など保険制度やその運用の改善により、支出削減を中心に保険収支を改善させる、③少子化を解消するなどが考えられる。

このような対応が考えられる中で、高齢者の就業や社会参加はどのような意味を持つのか。

高齢者の就業は、健康寿命の延伸を通じ、医療、介護のコストを引き下げる、さらに、労働力の確保につながり、経済成長の原動力となり得るものであると考えて良いのではないかと。また、社会参加についても、それが高齢者の意欲や体力の向上につながり健康寿命を延伸する効果があるとすれば、介護や見守りなど地域の支え手としての役割も期待できるものである。

このように、超高齢社会の社会的コストを緩和する上で、高齢者が雇用等様々な形で社会参加を続けること、すなわち生涯現役社会の実現は、コスト削減のみならず、コスト増へ対応した収入の増加、さらには地域社会支え手の確保など様々な意味で効果的であるといえる。

高齢者の戦力化として、①体力低下を補う取組と②モチベーションを引き上げる取組が重要。①として就業環境の改善(バリアフリー化、設備の改善、AI等の活用、作業姿勢の改善)と多様な勤務形態の導入(時差出勤、短時間勤務、隔日勤務、テレワーク)が考えられる。②として賃金・評価システムの再構築、キャリア形成・職業能力開発、職務再設計が考えられる。

地域の取組みのポイントとして、①地域の関係者の連携体制の構築、②高齢者のニーズの把握、③コーディネーターの確保、④高齢者への啓発、⑤就労先への啓発が挙げられる。



講師:中山 明広氏

～受賞おめでとうございます～

大分県知事表彰

高年齢者雇用優良事業所

有限会社まるみや 代表取締役社長 原田 和明
 社会福祉法人安心会 理事長 矢野 省三

障がい者雇用優良事業所

九州東芝エンジニアリング株式会社 取締役社長 於保 宏明
 社会福祉法人玖珠会 理事長 三好アツ子

優良勤労障がい者

社会福祉法人幸福会ソレイユ 田中 邦典
 医療法人梶原病院 山崎喜美子
 社会福祉法人双樹会 泥谷 隆敏



県知事表彰の皆様



協会長表彰の皆様

(公財)大分県総合雇用推進協会長表彰

高年齢者雇用優良事業所

医療法人創寿会介護老人保健施設小野鶴養生院 理事長 辛島 卓
 大野竹田バス株式会社 代表取締役社長 橋本 憲康

障がい者雇用優良事業所

富士通エフサス太陽株式会社 代表取締役社長 倉田 典昭
 医療法人梶原病院 理事長 梶原 慎

優良勤労障がい者

SBSフレックネット株式会社九州物流統括部大分営業所 山崎 理恵
 富士通エフサス太陽株式会社 小野 壮一
 医療法人新生会介護老人保健施設サングレイス香々地 藤原 祥文



機構理事長表彰の皆様

(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長表彰

障がい者雇用優良事業所

ゆうび株式会社 代表取締役会長 内野 優

優秀勤労障がい者

富士通エフサス太陽株式会社 富ヶ原裕司

ポスター原画・写真の部

社会福祉法人暁雲福祉会 丹羽 信誠



大臣表彰等の皆様

[披露] ◆障がい者雇用優良事業所 厚生労働大臣表彰

フンドーキン醤油株式会社 代表取締役社長 小手川強二

◆高年齢者雇用開発コンテスト (独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長表彰・特別賞

医療法人雄飛会 理事長 宇野 元博

「UIJターン希望者・新規大卒者等合同企業面接会」を開催

お盆と年末の帰省時期に合わせて「UIJ ターン希望者・新規大卒者等合同企業面接会」を開催しました。これは、UIJ ターン希望者や新規大卒者の就職支援を目的として毎年開催しているもので、今年度の夏は8月13日に大分市内のトキハ会館、年末は12月29日にレンブラントホテル大分において、大分労働局・ハローワーク、大分県、大分市との共催で実施しました。

参加数		H30.8.13 トキハ会館	H30.12.29 レンブラントホテル大分
企業		49 (59)	50 (65)
学生	男	31 (24)	7 (11)
	女	13 (22)	10 (6)
	計	44 (46)	17 (17)
既卒	男	11 (14)	9 (17)
	女	8 (6)	2 (9)
	計	19 (20)	11 (26)
UIJ	男	19 (11)	12 (6)
	女	1 (4)	3 (3)
	計	20 (15)	15 (9)
合計	男	61 (49)	28 (34)
	女	22 (32)	15 (18)
	計	83 (81)	43 (52)



8月13日開催の面接会

※()内は昨年度の参加数

8月の面接会の参加者は83人で昨年度より2人増加となりました。内訳をみると学生・既卒者が3人(4.5%)の減に対し、Uターン希望者が5人(33.3%)の増となりました。12月の面接会の参加者は43人で昨年度より9人(17.3%)の減となりました。内訳をみると学生は17人と昨年度と同じですが、既卒者が昨年度の26人から11人と大幅(58.7%)に減となっています。一方でUターン希望者が15人と昨年より6名(66.7%)の増となっています。



12月29日開催の面接会

両方の面接会ともUターン希望者が増加しており、平成28年度から29年度に減少していた傾向とは違っています。その背景等について詳細は分かりませんが、平成27年度から盆と年末の時期に開催してきた面接会が広く周知されてきたのではないかと思います。

年末面接会の参加企業のアンケートでは、参加者が少ない中でも有料人材紹介サイトでも該当がないような経験者がおり大変良かった、良い出会いになったという感想があり、今後も引き続き開催の方向で検討したいと思います。

企業人事担当者向けセミナーを開催



平成30年12月11日（火）に大分市トキハ会館5階カトリアの間において、協会会員企業の採用担当者を対象にセミナーを開催しました。

会場の都合で60社を枠として募集したところ73社から応募があり、当日は59社66人が参加していただきました。

第1部として「従業員採用にあたって知っていただきたいこと」と題して、説明会・面接会に参加した学生へのアンケート結果をもとにした学生の就職活動状況の説明、学生や若者への企業アピールの手段

としての「ユースエール企業」の認定取得への取組みの紹介、2019年開催予定のイベント情報や参加にあたっての留意事項等の説明を行いました。

第2部として、説明会・面接会に参加する場合の「おおいた de 就職するねっと」の利用方法について説明を行いました。

説明会・面接会で留意する点として学生・若者に接する場合は、採用できるかどうかにかかわらず「お客様」（将来の消費者）として接することが重要ということ、ユースエール認定取得の取組みは企業アピールのツールの獲得と同時に職場環境の見直しや働き方改革の取組みにもなるということ、Dネットの求人情報管理やオファー・プレエントリーの方法などを中心に説明しました。

参加者へのアンケート結果（61人回収、回収率92.4%）では、46人（75.4%）が参考になったと回答。特に、ユースエール認定制度の件とDネットの活用方法に興味を持っていただいたようです。

協会としては、来年度も企業向けセミナーを開催することとしており、アンケートでいただいた意見等を踏まえ内容のあるセミナーの実施に向け取り組んでまいりたいと思います。



平成30年度障害者就職面接会の開催

平成30年度の障害者就職面接会が、平成30年9月26日（水）に大分市のレンブラントホテル大分において大分労働局・ハローワーク主催、大分県及び当協会の共催により開催されました。

この面接会は、障害者の就職の促進を図ることを目的として平成12年度から毎年開催しており、今年度は企業75社、求職者251名が参加しました。

『企業説明会のポイントセミナー』の開催

少子高齢化の進展に加え、経済の好循環による大手企業を中心とした採用意欲の高まりから人手不足が深刻化する中、新規学卒者の労働市場はかつてないほどの売り手市場となっており、地方や中小企業においては働き手となる人材の確保、次代を担う人材育成が企業の経営戦略において喫緊の課題となっております。

県内企業は独自に説明会を開催するとともに、関係機関が開催する合同企業説明会等に積極的に参加するなど優秀な人材確保に注力しているところですが、若者に訴えかけるPRのノウハウやより効果的なプレゼンテーションテクニックについては、企業によってその力量に大きな差がみられます。

こうした状況を踏まえ、当協会は大分県から受託する「おおいた産業人財センター事業」の一環として、7月25日（水）にトキハ会館において県内企業28社32名の人事担当者参加による「企業説明会のポイントセミナー」を開催いたしました。

第一部では過去に開催した企業説明会・面接会において学生に好評であったブース装飾、プレゼンテーションに秀でた県内企業2社の人事担当者を実際のブース装飾をしていただいた上で取組事例発表をお願いしました。

まず、社会福祉法人博愛会の釘宮事務局長から、①ブースにおいては若い先輩が説明役に入るなど常に笑顔でウェルカム感を出す ②写真を使ったカラフルな資料作成に努める ③マスコミで取り上げられた事例を積極的に紹介する ④福利厚生の厚さをアピールする等の具体的なノウハウをご紹介いただきました。

続いて城島高原オペレーションズ(株)人事担当の小野氏、東氏から①コーポレートカラーで統一、仕切りの壁の空白部分を作らない、人の流れを想像してレイアウトを考える等のブース装飾のポイント ②企業側の年齢層を学生に近づける、積極的な勧誘等のPR方法のポイント ③パワーポイントは文字を極力減らして写真や動画をふんだんに使う等のプレゼンテーションのポイント等について、企業の持てるノウハウを披露していただきました。

第二部は企業相互の情報交換の場とし、採用に係る悩みと対応策、より効果的な企業アピール等について積極的な意見交換が行われました。



企業からは「ブース装飾、資料作成のコツが理解できた」「他社のこだわりを伺うことができ、今後のブース装飾等に活かしたい」「魅力あるレイアウトが参考になった」等のご意見・ご感想をいただき、本セミナーは盛況のうちに終了いたしました。



『内定者フォローセミナー』の開催

人手不足が深刻化する中、新規学卒者の採用戦線は年々加熱しており、学生が早期に複数の企業から内定を受けられることから、長期的かつ綿密な計画に基づく内定者フォローと辞退防止策が企業の採用戦略において大きな課題となっております。

こうした状況を踏まえ、当協会は大分県から受託する「おおいた産業人財センター事業」の一環として、9月19日（水）にトキハ会館において県内企業20社24名の人事担当者参加による「内定者フォローセミナー」を開催いたしました。



第一部では内定者フォローに重点的に取り組まれている（株）オーイーシー総務部能力開発担当の藤淵氏が「今どきの学生気質と内定辞退防止策」と題して、内定後の学生が抱く不安要因をいかにフォローして入社に結びつけるか、キャリアコンサルタントとしての経験も踏まえた上での基調発表を行いました。

第二部では業種にこだわらず参加者が5グループに分かれ、各企業・業界が抱えている問題点、取り組んでいる内定者フォローの手法と効果、企業としての魅力づくり

のポイント等についてグループ討議を実施し、活発な意見交換が行われました。

最後にグループごとに出された意見を取り纏めて発表し、グループ相互の情報交換を行いました。各グループからは内定から入社に至るまでの具体的フォローとして、①先輩若手社員との懇談会の実施 ②社長（役員）との食事会の実施 ③社内イベントへの参加 ④内定者研修の実施 ⑤資格取得に向けた全社的バックアップ ⑥業界研究のための通信教育、月1回のレポート提出の義務付け等企業側より頻繁にコンタクトを取ることが必要である、また、親決傾向の高まりから内定後の保護者への企業情報提供も重要である、最終的には個々の学生の特性に応じていかに「誠実で」「丁寧な」対応が出来るか人事担当者の技量にかかっているなどの意見が出されました。



終了後のアンケートでは「内定者フォローの手段を複数入手できた」「異業種の人事担当者と交流できて有意義だった」「自己流でやってきたので他社の取組みが参考になった」等のご意見・ご感想をいただき、全員参加型の本セミナーは総じて高評価をいただきました。

アビリンピックおおいた2018の開催

障害のある方が日頃培った技能を競い合うアビリンピック大分大会（大分県障害者技能競技大会）が、平成30年11月10日（土）に別府市の太陽の家を会場に、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構大分支部主催、大分労働局、大分県、当協会の共催により開催されました。

本大会は、障害のある方の職業能力向上を図るとともに、企業や社会一般の人々が障害のある方の能力について理解と認識を深め、障がい者の雇用の促進を図ることを目的に開催しており、今年度は10種目（2種目はデモンストレーション競技）の競技に56人の選手が参加しました。

入賞者は以下のとおりです。



競技種目	金賞受賞者	銀賞受賞者	銅賞受賞者
電子機器組立	野中 守 (ソニー・太陽株式会社)	大上 克 (ソニー・太陽株式会社)	塩地 優 (オムロン太陽株式会社)
ワード・プロセッサ	小倉 鉄郎 (ソニー・太陽株式会社)	野村まなみ (ホンダ太陽株式会社)	古澤 慧 (キャノンウインド株式会社)
表計算	竹村 重章 (ホンダ太陽株式会社)	利光 祐紀 (ホンダ太陽株式会社)	小田 悠一郎 (富士通エフサス太陽株式会社)
オフィスアシスタント	阿部 佑亮 (富士通エフサス太陽株式会社)	阿部 貴剛 (キャノンウインド株式会社)	工藤 奎太 (社会福祉法人暁雲福祉会)
ビルクリーニング (一般の部)	高嶋 東美 (社会福祉法人ややま福祉園)	角 広幸 (社会福祉法人ややま福祉園)	佐藤 秀平 (社会福祉法人幸福会)
ビルクリーニング・ チャレンジ (モップの部)	江藤 弘聖 (県立南石垣支援学校)	熊谷 龍彦 (社会福祉法人暁雲福祉会)	柳迫 裕治 (社会福祉法人太陽の家)
ビルクリーニング・ チャレンジ (ダスタークロスの部)	江藤 未弘 (県立南石垣支援学校)	渡邊 紘大 (県立大分支援学校)	徳田 竜貴 (社会福祉法人太陽の家)
喫茶サービス	高橋 夏姫 (社会福祉法人博愛会)	鍋嶋 達也 (社会福祉法人博愛会)	羽田野 今日子 (株式会社ジョイフル)

(敬称略)

2019.3卒対象 就活イベント参加学生の就職活動状況

平成30年3月から8月までの間に当協会が主催した4回の就活イベントに参加した新規学卒者の総数は427人でした。

前年度の同期中に3回開催したイベントの新規学卒者の参加総数は464人で37人の減となりました。内訳は専門学校生が46人減少、短大生は21人の増加、大学院・大学生は8人の減少となっています。

今年度の参加学生に対して昨年度と同様に郵送回答でアンケートを実施したところ56人から回答がありました。アンケートの集計結果はDネットのトップページに掲載しています。

今回のアンケート調査結果で特徴的な点は次のとおりです。

1、就職活動の開始時期

2月から3月の間に就職活動を開始した者が46%で半数近くがこの期間に集中しているが、他の者についてはバラツキが見られ2番目に集中する時期を特定できなかった。

2、会社決定の際に重視する事項

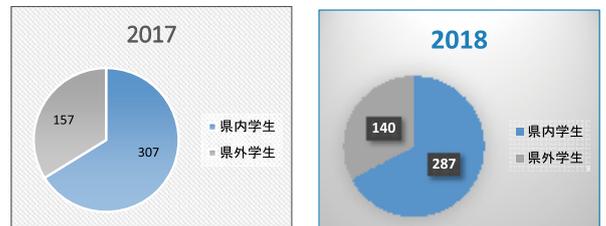
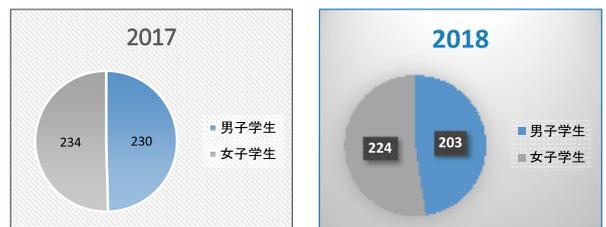
学生が就職する会社を決定する際に重視する点は、前年度に続き「社内の雰囲気、イメージがよい」が1位となった。面接会等で学生と接する場面では、このような学生の視点に留意して会社の魅力をアピールすることが重要となっている。

3、企業のインターンシップ

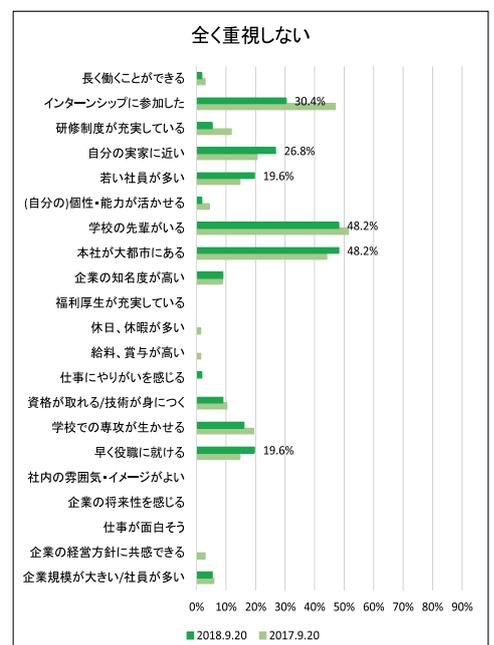
大学院・大学生の90%近くがインターンシップを経験しており、最近の就職活動においてインターンシップが重要な役割を占めている。

ただし、インターンシップが就職内定に直接つながるかという点、アンケート結果ではインターンシップを経験したことが会社を選ぶ際の判断基準としては順位が低いことから、会社がインターンシップを実施する場合は、コスト、得られる成果などを十分に検討する必要がある。

協会主催のイベント参加学生の状況



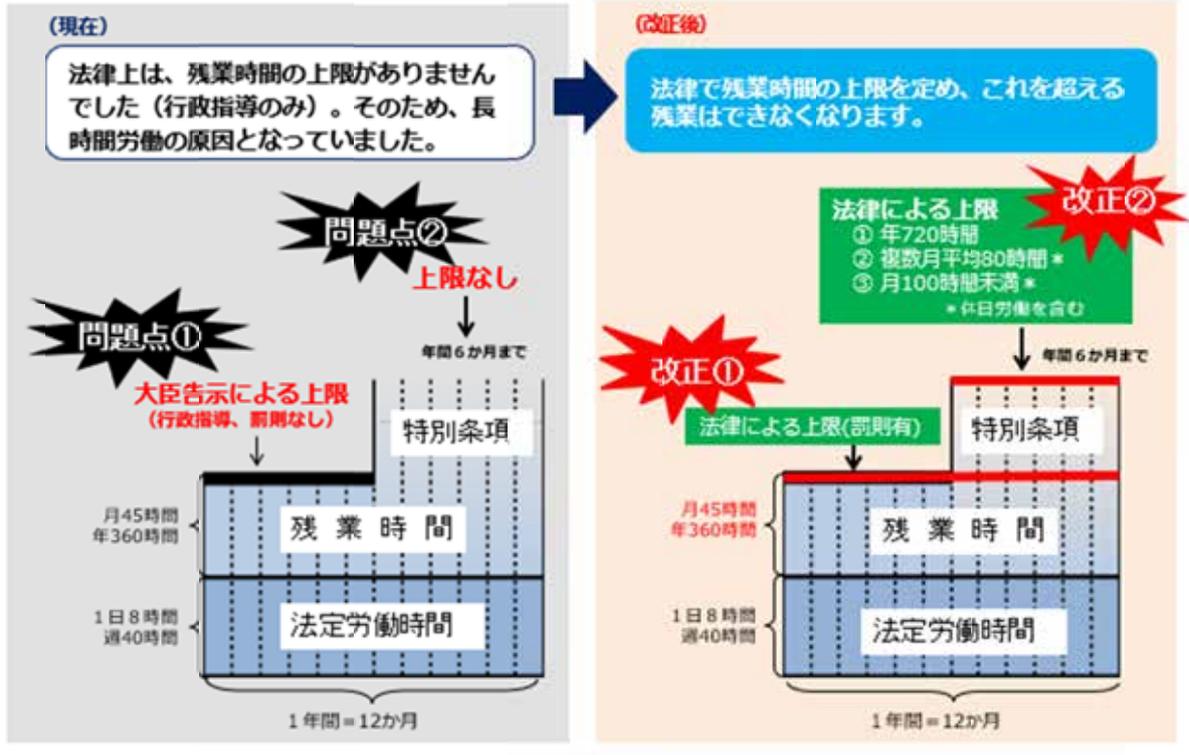
会社を選ぶ時の判断基準



働き方改革関連法

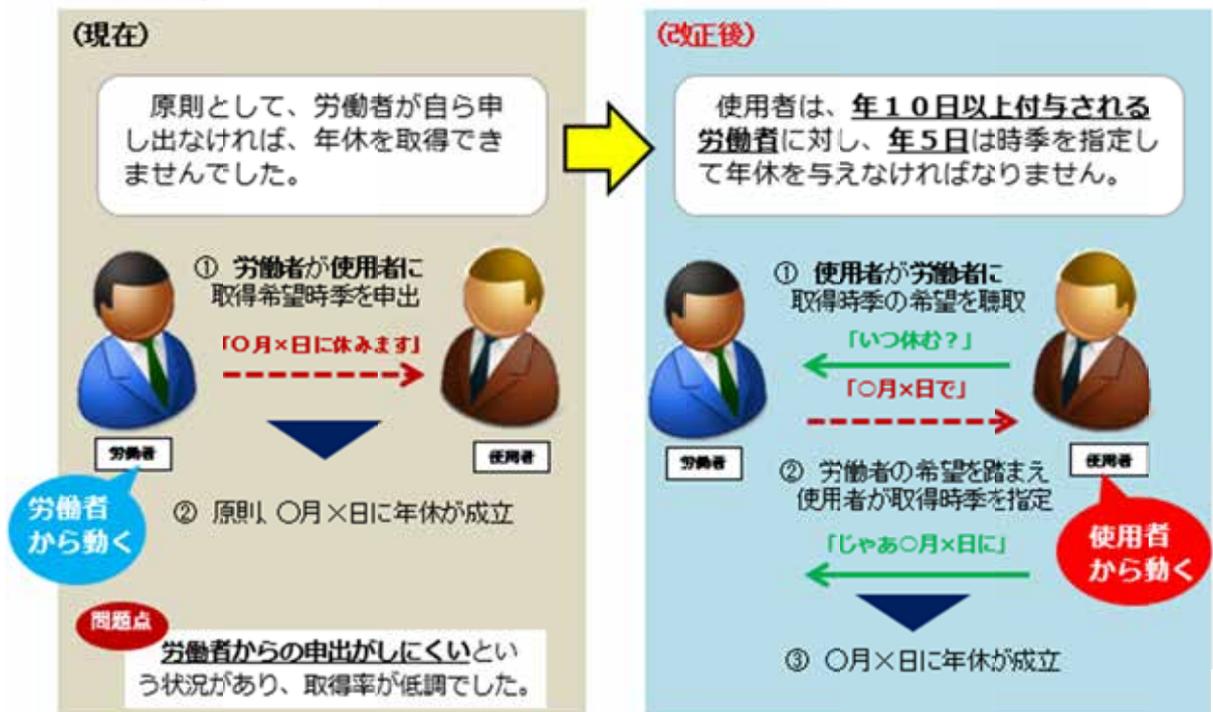
残業時間の上限規制について（改正労働基準法）

大企業は2019年4月から、中小企業は2020年4月から、残業時間に制限が掛かります。



年次有給休暇について（改正労働基準法）

2019年4月以降、全ての企業において、労働者に有給休暇を取得させることが義務になりました。



事業主の皆さま

大分労働局委託事業 働き方改革推進支援センター（大分県社会保険労務士会内）

～専門の社会保険労務士が無料で電話相談、企業訪問などに応じます～

- 就業規則、36協定、賃金規程を整備したい
- 長時間労働を削減したい
- 年次有給休暇を付与したい
- 非正規の方の待遇をよくしたい
- 人手不足の解消、定着率をよくしたい
- 助成金を利用したいが利用できる助成金分からない 等

どうぞお気軽に、
ご相談ください。

▶ 相談内容は外部に漏れることはありません。

●ご相談を希望する場合は、下記にご記入の上、労働局・監督署・ハローワーク窓口又はFAXで提出してください。

FAX 097-573-8666 大分労働局雇用環境・均等室あて

企業・団体名	(フリガナ)
担当者	
連絡先	

問い合わせ先 大分労働局雇用環境・均等室 TEL 097-532-4025

「おおいた働き方改革」実践推進モデル企業 “最終報告会”の開催について

大分県では、労働時間の縮減等の成果を上げることにより、県内における先進事例を業種ごとに創るため、7ヶ月にわたる専門家のサポートの下、働き方改革に取り組む企業を募りました。

モデル企業の取組の手法や過程をより多くの企業、支援機関のみなさまにお知らせし、働き方改革の取組を県内全域に拡げていくために、標記報告会を開催します。

【日時】平成31年3月15日(金)14:00～17:15 【場所】大分県庁 新館14階 大会議室
(交流会:17:30～新館13階 レストラン「ぶんど」)

【モデル企業】

製造業	株式会社デンケン(由布市)	宿泊業	株式会社F&Tホールディングスもと湯の宿「黒田や」(別府市)
卸・小売業	株式会社古城(大分市)	建設業	佐々木建設株式会社(豊後高田市)

「おおいた働き方改革」推進優良企業表彰

この表彰制度は、働きやすい職場環境づくりに加え、「働き方改革」に積極的に取り組み、優れた成果が認められる法人について、その業績を称え、広く県民に周知することにより、「働き方改革」の取組を県内全域に浸透させることを目的として創設しました。

また、平成28年度に創設した「おおいたワーク・ライフ・バランス推進優良企業表彰」を継承するものです。

今年度は3つの企業・団体を表彰し、平成30年10月9日に開催した「おおいた働き方改革」トップセミナーのなかで表彰式を執り行いました。



左から(福)みずほ厚生センター様、大分デバイステクノロジー(株)様、安東副知事、(株)ザイナス様

受賞企業

大分デバイステクノロジー株式会社(大分市・製造業)

株式会社ザイナス(大分市・情報通信業)

社会福祉法人みずほ厚生センター(臼杵市・医療、福祉)

受賞企業の主な取り組み

- ◆経営者自らが経営方針を説明し、全社員で短期・長期ビジョンを共有。
- ◆ITを利用した勤怠管理システムを導入し、情報共有を円滑化。
- ◆資格取得をサポートし、従業員のモチベーションを向上。

【お問い合わせ】

大分県 商工労働部 雇用労働政策課 労政福祉班 電話:097-506-3327

おおいた働き方改革

検索

企業・事業所の皆様

◎大分県

業務効率化のキギは 在宅ワーカーの活用にある!!

人材確保

コスト削減

生産性向上

商品力・営業力強化



大分県では在宅ワーカーの活用をはじめ、働き方改革の推進を行っています。
在宅ワーカーを活用して業務の効率化を図りませんか？

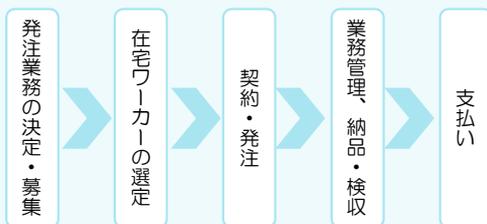
Q 在宅ワーカーってなに？

在宅ワーカーとは、パソコン等の情報機器とインターネット等の情報技術を活用し、主に自宅で業務を行う個人事業主をいい、企業・事業所から業務請負契約に基づいて業務を受注します。

Q どのような業務を頼めるの？

- ◇ **事務系業務**
データ入力、集計、資料作成など
 - ◇ **編集系業務**
ライティング、音声起こし、誌面の編集など
 - ◇ **Web関連・デザイン系業務**
Web制作・管理、デザイン、イラスト作成など
- このほかにも多様な業務があります。

Q 発注から納品・支払いの流れは？



Q 発注方法を教えて！

1. **直接発注**
在宅ワーカーに直接発注
2. **エージェント（仲介業者）の利用**
エージェントを介して在宅ワーカーに発注
3. **クラウドソーシングで募集**
クラウドソーシングサイトを介して発注

Q できるだけスムーズに取引をしたい。どうすればいい？

スムーズな発注のために、だれが読んでもわかる「仕様書」を作成しましょう。受発注者双方に不明な点がないようになるものにします。（業務内容の詳細、納期・納品方法、報酬額、使用ソフトや機器 etc…）

詳細については、「自営型テレワークに関する総合支援サイト HOME WORKERS WEB」をご覧ください。
➤ <http://homeworkers.mhlw.go.jp/>



Point 大分県で養成した在宅ワーカーをご活用ください！

大分県在宅ワーカーマッチング交流会にご参加ください。

大分県では、企業・事業所と在宅ワーカーのマッチング交流会を開催しています。在宅ワーカーのスキルや人となりを直接確認でき、直接発注に結び付けることができます。

在宅ワーカーマッチング交流会についてなどのお問合せは
大分県 商工労働部 雇用労働政策課 労政福祉班 まで ☎097-506-3327 ✉ a14580@pref.oita.lg.jp

障害者雇用納付金の申告等に関する 事務説明会を開催（ご案内）

平成31年度にかかる障害者雇用納付金・調整金等の申告・申請の受付を平成31年4月から開始しますので、手続きを円滑に行っていただけるよう「障害者雇用納付金制度事務説明会」を下記の日程で開催します。

「障害者の雇用の促進等に関する法律」では「障害者雇用率制度」（法定雇用率）が設けられており、事業主は、その「常時雇用している労働者数」の2.2%以上の障害者を雇用しなければなりません。

障害者を雇用するには、作業施設や設備の改善、特別の雇用管理等が必要となるなど障害のない人の雇用に比べて一定の経済的負担を伴うこともあり、法定雇用率を守っている企業とそうでない企業とでは、経済的負担のアンバランスが生じます。

障害者雇用に関する事業主の社会連帯責任の円滑な実現を図る観点から、この経済的負担を調整するとともに、障害者の雇用の促進等を図るため、事業主の共同拠出による「障害者雇用納付金制度」が設けられています。

本制度により、**常時雇用している労働者数が100人を超える事業主は、平成30年4月から平成31年3月までの障害者の雇用状況の申告が必要**であり、法定雇用率を未達成の事業主は不足する障害者数に応じて障害者雇用納付金の納付義務が発生し、一方で法定雇用率を達成している事業主は雇用障害者数に応じて障害者雇用調整金を受給することができます。

平成31年度は、**精神障害者である短時間労働者の算定方法が変更**となっています。毎年ご担当いただいている方におかれましても、ぜひ参加していただきますようお願いいたします。

参加を希望される方は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

地域	会場	日程	時間	説明内容
大分	ポリテクセンター大分	H31.3.6（水）	9:30～12:00	申告・申請が初めての担当者対象
			13:30～16:00	申告・申請の経験がある担当者対象
		H31.3.7（木）	9:30～12:00	申告・申請が初めての担当者対象
			13:30～16:00	申告・申請の経験がある担当者対象
別府	ハローワーク別府	H31.3.8（金）	9:30～12:00	申告・申請が初めての担当者対象
			13:30～16:00	申告・申請の経験がある担当者対象
中津	ハローワーク中津	H31.2.26（火）	13:30～16:00	全担当者対象
日田	ハローワーク日田	H31.2.22（金）	13:30～16:00	全担当者対象
佐伯	ハローワーク佐伯	H31.2.25（月）	13:30～16:00	全担当者対象
宇佐	ハローワーク宇佐	H31.3.5（火）	9:30～12:00	申告・申請が初めての担当者対象
			13:30～16:00	申告・申請の経験がある担当者対象
豊後大野	ハローワーク豊後大野	H31.3.4（月）	13:30～16:00	全担当者対象
全県	ポリテクセンター大分	H31.3.11（月）	13:30～16:00	報奨金担当者対象

【お問い合わせ先】

受付は各説明会の30分前から行います。

独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構
大分支部 高齢・障害者業務課

〒870-0131 大分市皆春1483-1 ポリテクセンター大分内
TEL 097-522-7255 FAX 097-522-7256

納付金	説明会	大分	検索
-----	-----	----	----

2019年度 高齢者雇用開発コンテスト

高齢者がいきいきと働くことのできる 職場づくりの事例を募集します

当コンテストは、高齢者が長い職業人生の中で培ってきた知識や経験を職場で有効に活かすため、企業等が行った創意工夫の事例を広く募集・収集し、優秀事例について表彰を行います。

優秀企業等の改善事例と実際に働く高齢者の働き方を社会に広く周知することにより、企業等における雇用環境整備への具体的な取組の普及・促進を図り、生涯現役社会の実現に向けた気運を醸成することを目的としています。多数のご応募をお待ち申し上げております。

I 募集テーマ

働くことを希望する高齢者が、年齢にかかわらず生涯現役でいきいきと働くことができるようにするため、各企業等が行った雇用管理や職場環境の改善に関する創意工夫の事例を募集します。なお、創意工夫の具体的な例示として、以下の改善項目を参考にしてください。

改善項目	内 容（例示）
1. 制度面の改善	①定年制の廃止・定年年齢の延長・継続雇用制度 ②賃金・評価制度の改善 ③短時間勤務等柔軟な雇用形態 ④役割の明示 等
2. 高齢者の戦力化	①高齢者の力を活用した生産性の向上 ②ミスの防止やムダな動きの削減などの取組 ③安全衛生管理（5S活動、安全衛生委員会、事故防止対策） 等 ④その他
3. 意識・風土面の改善	①職場風土の改善 ②職場コミュニケーションの推進 ③従業員の意識啓発の取組 等
4. 能力開発 （研修、資格取得、OJTなど）	①高齢者を対象とした教育訓練やキャリア形成支援の実施 ②高齢者による技能継承（技術指導者の選任、マイスター制度、マニュアル化、高齢者と若年者のペア就労） 等
5. 健康対策	①高齢者を対象とした健康管理・メンタルヘルス （健康管理体制、健康管理上の工夫・配慮） ②福利厚生（休憩室の設置、レクリエーション活動、生活設計相談体制） 等

II 応募方法

1. 応募書類等

- イ. 指定の応募様式に記入していただき、写真・図・イラスト等、改善等の内容を具体的に示す参考資料を添付してください。
- ロ. 応募様式は、（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構大分支部にて、紙媒体または電子媒体により配付します。また、同機構のホームページからも入手できます。
- ハ. 応募書類等は返却いたしません。

2. 応募締切日

2019年4月15日（月） 当日消印有効

3. 応募先およびお問い合わせ先

独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構
大分支部 高齢・障害者業務課
〒870-0131 大分市皆春1483-1 ポリテクセンター大分内
TEL 097-522-7255 FAX 097-522-7256

高齢 コンテスト 募集 検索

キャリア人材バンク 登録のおすすめ

生涯現役社会の実現に向けて、高齢者の就業を支援します。



● キャリア人材バンクに登録するには ●

事業主経由での登録の場合

事業主様を通じて
下記、事務所へご相談ください

対象者

60歳以上の在職者の方で
・雇用契約期間満了(※)後に再就職
を希望する

※定年、継続雇用終了、有期雇用契約期間満了により
離職する場合をいいます

個人登録の場合

下記、事務所までお電話ください
(ご来所のスケジュールの調整をします)

対象者

60歳から65歳の誕生日までの方で
下記のいずれかに該当する方
・在職者で再就職を希望する
・離職者(※)で再就職を希望する
※本事業の離職者とは離職後1年以内の方をいいます

担当者が登録に必要な書類の作成や再就職のお手伝いをいたします

- ・キャリアシート作成の支援(履歴書・職務経歴書・職務能力記述書)
- ・キャリアカウンセリング・講習等の実施他

公益財団法人 産業雇用安定センター 大分事務所

〒870-0021 大分県大分市府内町3-4-20 大分恒和ビル7階
☎: 097-538-0512 FAX: 097-540-5420

access map



公益財団法人

大分県総合雇用推進協会(本部)

〒870-0035 大分市中央町4丁目2-16 サンリラ中央3F

電話 097-532-8486 FAX 097-536-3945

URL <http://www.koyosuishin-oita.jp>

雇用推進協会

検索

おおいた産業人財センター・ジョブカフェおおいた本センター

〒870-0035 大分市中央町3丁目6-11 (竹町通り enisie 内)

【UIターン】 電話 097-533-2631 FAX 097-576-8306

【ジョブカフェ】 電話 097-533-8878 FAX 097-533-8667

【プロフェッショナル人材活用センター】

電話 097-576-8309 FAX 097-576-8306

URL <http://www.enisei-oita.net>

おおいた地域若者サポートステーション

〒870-0035 大分市中央町1丁目2-3 KNTビル3F

TEL 097-533-2622 FAX 097-579-6178

URL <http://www.oita-ss.com/>

【県南常設サテライト】

〒876-0845 佐伯市内町8番4号 菊池ビル1階

TEL 0972-28-6117 FAX 0972-28-6118

URL <http://kennansaposute.saiki.jp/>